第２回 SAGAパラスポ 2026

公開競技【ゴールボール】

■開催：ゴールボール
■日程：8月30日(日)
■会場：吉野ヶ里町文化体育館

【天田選手】9月12日時刻は正午になりますと、こんにちは皆さん高温です。土曜日のお暇いらがお過ごしですか。ここからのお時間はFM佐賀特別番組SAGAパラスポ2026ゴールボール競技をお送りします。この後12時55分までお付き合いください。

【吉丸】SAGAパラスポは佐賀県が施設に開催しているパラスポーツの全国大会で昨年に続き今年が2回目となります。先月行われた佐賀県ソフトボール協会様にご事業3月末で2階目、約内アンの会場で使い続いが使いなどられますFM佐賀ではまでの会場に公開競技を実施。パーソナリティ的各競技会場を話お選手たちに熱いエールを送りますと、記念すべき1競技目はゴールボール、視覚に障害がある方を対象に考案された競技で的のスポーツを転がすように投げて球点を狙います。試合は選手選手ペアになり、「静寂の中の競技」と言われています。そのゴールボール競技、8月29日30日の2日間競技と意対文化体育館で開催されました。大会には佐賀県内各はじめ福岡、高知、そして鹿児島の合わせてチーム の出場2回目にたたって熱い戦いが展開されました。FM佐賀では大会2日目の30日、会場内に特設ブースを設け選手、大会関係者、ボランティアの皆さん、そしてゴールボールを通じたお客様に お話聞かせ 頂いました。今日の特別番組ではその模様をお届けしています。

先は と冒頭でお届けした、今大会で優勝を果たした地王Ｔｅｌｅ Ｓｅａｒｃｈの沢田和通選手のお話にあったように、ラジオよりも静かの選手なはずお決まりです。

インタビュー 【審判委員 尾形広美さん】

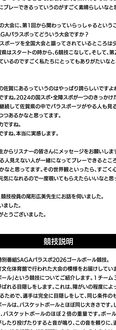

写真 左：審判委員 尾形広美さん　右：パーソナリティ 徳丸真路

【吉野】8月30日開催!
吉野ヶ里町文化体育館の特設ブースで最初に お話を伺ったのは太和特別支援学校に勤務されている尾形広美さんです。今大会では ゴールボール部の顧問 兼 として参加されました。吉野まで19時間程度立意学校に お勤めだった尾形さんは ここ5年ほどゴールボールに関わっていらっしゃいます。

【吉丸】先生方 の見て ゴールボールってどういう競技ですか。
【尾形さん】そうですね。視覚障害がある方も 出入 (視覚者) も一緒にプレーをできる、アイシェードキーつつけることで視力を同じ条件にしてコミュニケーションを取りながら一緒にプレーできるっていうのがすごく素晴らしいなと思っています。

【吉丸】先生はこの大会に、第1回から関わっていらっしゃるということですけど全国的に見てこのSAGAパラスポっていうこういう大会ですか？
【尾形さん】パラスポーツ を全国大会と 謳って されていることはは少 ないかなと思うんですけど、佐賀県はスタートの時から 頑張 ってこ、して、第2回と継続して頑張 をしてもらっているのですごく嬉 しいことっても ありがたいなと、嬉しいなと思っています。

【吉丸】そのたびの佐賀にあるっていうのはやっぱり嬉しいですか。
【尾形さん】そうですね。2024の第2大会 全国大会が一つの きっかけだったと は思うんですけどそれが継続して 佐賀県の中でパラスポーツがやめも 見る人も支える人も 盛り上がってきつつあるかなと思っています。
【吉丸】頑張ってだですね。
【尾形さん】本当ですね。本当に実感します。

【吉丸】最後に先生からリスナーの皆さんメッセージ を お願いします。
【尾形さん】見る人 見る人 いろんが一緒 になってプレーできることこそ にすごく夢 があ 感じるスポーツ だと思います。その世界観 といったら、すごくが夢 がにじむとと いうからも 特 に応援 されたの で一番 嬉 してもらたと思います。

【吉丸】この時間、競技説 明の尾形広美先生 にお話 を伺いました。
ありがとうございました。
【尾形さん】ありがとうございました。

競技説明

【吉丸】FM佐賀特別番組SAGAパラスポ2026ゴールボール競技。
先日、吉野ヶ里町文化体育館で行われた大会の模様をお届けしています。ここで改めてゴールボールというお競技について紹介します。チーム3名で行う、全身がアイシェードと呼ばれる目隠しをしますこれは、障がい の程度によって 競技力の差が出ないようにするために、選手は完全に目隠しをして、同じ条件のもと で競技を行います。競技はコートの中 で、ボールをコートの 端まで 投げ 合 ます。ボールの中には「鈴」が入っていて、転がした方 だけでなく 選手 の間 で、この音を 頼りに、選手たちはボールの方向、速さ、バウンドの状態などを判断します。コートの大きさは、1 m × 9 m、6人制バレーと同じ広さです。ゴールの高さは、コートの 端 幅と同じ9m。高さは1、3 mあります。サッカーやハンドボールと違い、コートの中 に 同じ 幅 の選手 がいて、出場する3人の選手全員がフォワードであり、ディフェンスであり、キーパーでもあります。そもそ もゴールボール競技、男子の トップ選手になるとその球速は 秒速 で時速 60キロ のような 中に 球 を と 投 げ ています。この速さ です。およそ5 5 で 0秒 手 触 は ま で ボール が 速 す と い う 計 測 で す。 選 手 た ち は この 5 秒 の 間 に、 どの方向にどんなボールが来るか判断し、反応しなければならず ません。トップ 選手になると、投球 前の動 点の 足 音 で ボール の方向 を 判 断 、 最 終 に バ ウ ン ド し た 音 で、バウンドの高さやボールの速さを判断すると言われています。ずば抜 音 がされた、選手たちの研 ぎ澄 まされた感覚に注目してみてください。この大会は「パラスポーツ の全国大会」ということ で 他 の 競 技 チ ー ム が 開 催 し ま した。 そ の 中 で も、地元 佐賀の選手の皆さんもラリ！ 輝き を見せてくれました。

インタビュー【SAGAN CO】

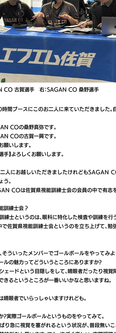

写真 左：SAGAN CO 吉賀選手　右：SAGAN CO 桑野選手

【吉丸】そこの時間ブースにこのお二人にまていただきました。自己紹介お願いします。
【桑野選手】SAGAN COの桑野真弥です。
【吉賀選手】SAGAN COの吉賀一真です。
【吉丸】よろしくお願いします。
【桑野選手・吉賀選手】よろしくお願いします。

【吉丸】選手のお二人にお話いただきましたけれどもSAGAN COとは、どういうチームなんでしょう。
【吉賀選手】SAGAN COは佐賀県視覚障害者スポーツ協会様の下で発足しました。
【吉丸】佐賀県視覚障害者スポーツ協会？
【吉賀選手】視覚障害者スポーツのは、現在に特化した視覚障害者のスポーツ 種目を 幅 ご 発足しました。
【吉丸】佐賀県視覚障害者スポーツ協会 様 の 下 で 発足 しました。 ゴールボール 競技 は 視覚 障害 者 の スポーツ の 中 で 、 ボール を 投 げ る 、 ボール の 速 さ や 音 を 判 断 す る と 言 われています。ずば抜 音 がされた、選手たちの研 ぎ澄 まされた感覚に注目してみてください。この大会は「パラスポーツ の全国大会」ということ で 他 の 競 技 チ ー ム が 開 催 し ま した。 そ の 中 で も、地元 佐賀の選手の皆さんもラリ！ 輝き を見せてくれました。

インタビュー【佐賀ストライカーズ】

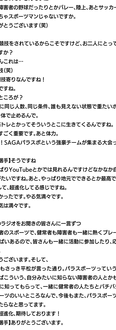

写真 左：佐賀ストライカーズ 平松選手　右：佐賀ストライカーズ 草場選手

【吉丸】お一方ずつ自己紹介お願いします。
【草場選手】佐賀ストライカーズの草場です。
【平松選手】佐賀ストライカーズの平松です。
【吉丸】はい よろしくお願いします。
【草場選手・平松選手】よろしくお願いします。

【吉丸】お二人が所属する佐賀ストライカーズは、どんなチームなんでしょう。
【平松選手】主体的な人のおが 人 あと先生が 人のスポ ーツ で 興味 しています。
【吉丸】この、学校の皆さんって？
【平松選手】そうですね。
【草場選手】はい学校の？
【草場選手】はい
【吉丸】いや、高校は一緒に学校に通っているっていうことですよね。
【草場選手】部屋とか が一きっの 国家資格を取るためにや、自分たちは通っています。
【吉丸】ここ とも？
【草場選手・平松選手】はい
【吉丸】いや あ、しっかり学び者の中でいろんな生活を共にしながらチームメイトで、
【草場選手】時から ずっと一緒 です 笑）
【吉丸】うん、ちろ ん ボ ー ル 以 外 ず っ と い ま す ね。
【草場選手】ちろ 間違い ないですね（笑）

【吉丸】このゴールボールのチームとしての活動ってどういう。
【平松選手】時間、毎日 即トレをしたりランニングをしたりメンバーが全員集まれるとき は、集まって 練習をしたりしています。
【草場選手】あとは、自分たちも部活とか生徒会の活動とかもあるので忙しいときとか 重なって 練習しているような感じですね。
【吉丸】部活とも部活がいろいろ？ ですか？
【草場選手】学校の部活が多 あります。フロアバレーが多 あります。
【吉丸】他の競技もされているんですね
【草場選手】視覚障害者の競技 ゴールボ ール、陸上、あと サッカー も。
【吉丸】あ ゃ ぱ ら ゃ ス ポ ー ツ マ ン シ ョ ン は い ま す か。
【草場選手】あ り が と う ご ざ い ま す（笑）

【吉丸】いろんな 競技 をされているからこそ すけど、お二人にとってゴールボールってどんな 競技 です か？
【草場選手】ラ ー ん こ れ は ー
【平松選手】時間 は（笑）
【吉丸】ゃ、時間 は 安 な ん で す ね！
【草場選手】ウ ア ま ん。
【吉丸】どういうところ？
【草場選手】至 高 に 同じ よ 感 、 高 に 集 ち 見 え な い 状 態 で 重 た い ボ ー ル を 思い切り投げ る、それ を 信 じ る ん ど。
【吉丸】いや あ、思 ト レ と か で そ ういうことに生きてくるんですね。
【平松選手】ものすごく 重要 で、あ (ね た。
【吉丸】なるほど！SAGAパラスポという 強 豪チーム が 来 る 大 会 な ん で な か な か ないですよね。
【草場選手・平松選手】そうですね
【草場選手】ゃっぱりYouTubeとかでは見れるんですけどなかなか自分たちが体験できるのは、ありがたいですね。あと、やっぱり地元で できるとか 最高 です ね
【吉丸】頑 張 に て、 頑 張 れ ま す で す（笑）
【草場選手】やはったです。やる 見 届 (で す。
【平松選手】やる 気 は 満 々 で す。

【吉丸】ここ、このラジオを お聞きの皆さんに一言 ず つ
【草場選手】競 技 者 の ス ポ ー ツ で、 観 客 も 一 緒 に 楽 (プ レ ー が で き る ス ポ ー ツ が 他 にもいっぱいあるので、皆さんも一緒に活動に参加したり、応援に来てもらったら嬉しいです。
【吉丸】ありがとうございます。そして、
【草場選手】自分もっと 手 ち が 見 つ た 方 、パラスポーツ というのを全然知らなかったのでやっぱこういう、自分ったいに知らない環境者の人とかいるかもしれないいんで きの人に知ってもらって、一緒に競技者の人たちとパラリ テ ニ ス やるとか、やっぱパラスポ の いいところなで、今後もまた、パラスポーツを広めるようなお手伝いができたらなと思ってます。
【吉丸】ありがとうございます！
【草場選手・平松選手】ありがとうございます。

【吉丸】この時間、佐賀ストライカーズ平松真さん、そして草場長佑さんにお話を伺いました。
ありがとうございました。
【草場選手・平松選手】ありがとうございました。

インタビュー【サガンティア・神埼清明高校】

写真 左：サガンティア 円城寺幸子さん　右：サガンティア 円城寺実さん

【徳丸】FM佐賀特別番組
SAGAパラスポ2026ゴールボール競技
先月、吉野ヶ里町文化体育館で行われた大会の模様をお届けしています。
今の選手の話の中に出てきた晴眼という言葉。
「晴」に「眼（マナコ）」と書きます。
会場で配布されたリーフレットの選手紹介の欄にはお名前・背番号の他に全盲・弱視。
そして、この晴眼という障害の有無が示されていました。
そんな、チーム、選手の皆さんをコートはもちろん控室や様々な動線でサポートしたのが佐賀県のスポーツシーンを支えるボランティア、サガンティアと神埼清明高校の皆さんでした。

【円城寺 実さん】多久から来ました円城寺実と申します。
【円城寺 幸子さん】そして、同じく円城寺幸子と申します。よろしくお願いします。
【徳丸】ご夫婦でいらっしゃるということなんですけどお二人はサガンティアのお二人ですよね。
【円城寺 実さん】はい
【徳丸】SAGA2024国スポ・全障スポでもたくさんのサガンティアの皆さんが、この大会を支えていらっしゃって成り立ったというのは皆さんもご存知だと思うんですけども、お二人はその時から？
【円城寺 幸子さん】はい。2024をきっかけに参加させてもらっております。

【徳丸】今までどんな大会に？
【円城寺 実さん】唐津での車椅子バスケットボール大会とか。
【円城寺 幸子さん】バレーですね。陸上とかいろいろ。

【徳丸】実際やってみる中で、魅力って何でしょうか。
【円城寺 幸子さん】本当にいろんな方とお知り合いになれて、楽しくやってます。
【徳丸】まず、自分が楽しいっていうところがお二方の中であるということですよね。
【円城寺 実さん・幸子さん】はい

【徳丸】ラジオをお聞きの皆さんにメッセージをお願いします。
【円城寺 実さん】サガンティア。いざ飛び込んでみると、皆さん気さくで優しく声かけていただいてもらって楽しくやらせてもらっております。
【円城寺 幸子さん】こういう風に徳丸さんにもお会いできて、やっててよかったなと思っております。（笑）
【徳丸】お二方の柔らかい感じの笑顔がとても素敵ですし、いい環境で頑張られてるんだなっていうのを感じました。
これからも頑張ってください。
【円城寺 実さん・幸子さん】ありがとうございます

【徳丸】この時間、サガンティアの円城寺 実さん、幸子さんにお話を伺いました。
ありがとうございました。
【円城寺 実さん・幸子さん】ありがとうございました。

写真 左：神埼清明高校 尊田日菜さん　右：神埼清明高校 内田香里奈さん

【内田さん】はい。佐賀県立神埼清明高等学校3年 内田香里奈です。
【徳丸】そして
【尊田】佐賀県立神埼清明高等学校3年 尊田日菜です。
【徳丸】よろしくお願いします。
【内田さん・尊田さん】よろしくお願いします。

【徳丸】お二人は今日、何のお仕事をされているんですか？
【内田さん】状況を説明しての手引き歩行だったり、選手の方とコミュニケーションを取ったりするボランティアをさせていただいてます。
【徳丸】手引き歩行ってどういうことをされるんですか？
【尊田さん】手を肩や腕に掴んでもらって、案内することです。

【徳丸】普段からお二人はそういったボランティアをやられているんですか？
【内田さん】福祉系列でのボランティア活動っていうんですかね？
学科でのボランティア活動をやってます。
【徳丸】なるほど、学校でも福祉を学んでいる中で、実践する意味で今日来られてるんですね。
【内田さん・尊田さん】はい

【徳丸】プロにこれからなろうという卵のお二人ですね。
実際に、学校で学んでいることで気をつけていることって何かありますか？
【尊田さん】気をつけていることは、選手の方が怪我しないようにすることや
今どのような状況か説明することを大切にしています。

【徳丸】実際、このSAGAパラスポに来てみてゴールボールって見たことありました？
【内田さん】初めて見ました。
【徳丸】初めて見た感想は？
【尊田さん】やっぱりすごいなって思いました。実際に学校でやってみたんですけど、すごく難しくてでも、音だけで聞き分けることがすごい上手だなって思いました。

【徳丸】それぞれの夢を聞いてもいいですか？
【内田さん】私の将来の夢は看護師なので、健常者の方だけではなくて障害のある方に対してもサポートできるような看護師を目指したいと思っています。
【尊田さん】私は利用者の方に寄り添った介護がしたいので、もっと心理系の方を学びたいと思っています。
【徳丸】このSAGAパラスポで若い力が支える側として、育っているっていうのはすごく熱くなるお話でした。
ありがとうございました。
【内田さん・尊田さん】ありがとうございました。
【徳丸】この時間、神埼清明高校の内田香里奈さん、尊田日菜さんにお話を伺いました。
お二人ありがとうございました。
【内田さん、尊田さん】ありがとうございました。

第2回佐賀パラスポ2026は今回のゴールボール競技を皮切りに、来年3月まで県内各地で競技が行われていきます。それぞれの会場でのサガンティアそして、地元高校生の皆さんの活躍にもぜひご注目ください。

ゴールボール体験

さて、今回のゴールボール競技では会場内に体験コーナーが設けられアイマスクをしてプチゲーム体験ができました。

（徳丸体験音声）
（ボールの音）
【徳丸】え?もう来ました?来ました今?
【スタッフ】はい、来ました。
【徳丸】えーずっとシャリシャリ言ってます。もう一回いいですか？
【スタッフ】はい。（ボールを投げる音）
【徳丸】あ、こっち、おー止めた！止めたけど、結構怖い！これは結構ハードなスポーツですね。

【徳丸】さあ、今体験をされたばかりのお二人にお話を伺おうと思うんですけど
お二人はゴールボールされるのは初めてですか？
【体験者（女性）】はい、初めてです
【体験者（男性）】初めてです。

【徳丸】ゴールボールがどんな競技かはご存知でしたか？
【体験者（女性）】詳しいルールはよくわからなかったんですけど、ボールを掴んで投げるという簡単なところまでは理解していました。

【徳丸】実際にボールを触ってみて、そして、体験してみていかがでしたか？
【体験者（男性）】実際、本当に目が見えない状態での音の聞き分けだけで、やっていることが選手たちがどれだけすごいのかがよくわかりました。
【体験者（女性）】自分は真っ直ぐ投げているつもりでも、全然違う方向に投げている。そこの集中力がすごいなと、選手の方に本当に拍手を送りたいと思いました。
【徳丸】実際に、何回かやっているうちになんとなくお2人とも感覚が掴めていたような気がしますけど、どんな感じですか？そのボールが近づいてくるとき。
【体験者（男性）】音が大きくなるんで、なんとなく、どこにボールが来るのかなというのが、わかるようになってきました。

【徳丸】初めてやっても楽しめる要素はありますか？
【体験者（女性）】とても楽しめると思います。家族で楽しめるんじゃないかなと思いました。
【徳丸】ありがとうございます。
【体験者】ありがとうございます。

第2回SAGAパラスポ2026では、この後行われる競技でもパラスポーツ体験コーナーが設けられます。
今、この放送をお聞きのあなたもぜひチャレンジしてみてください。

マルシェの紹介

また、それぞれの会場では、障害福祉施設によるマルシェも開催されます。
先月のゴールボールの時も吉野ヶ里町文化体育館の1階ホールに、2日間で延べ15店舗が出展。コーヒー、お惣菜、クッキー、パン、スイーツなどなど、個性的で美味しい商品がずらりと並んでいました。そんな、マルシェコーナーに、だーゆんこと園田有由美さんが取材に伺いました。園田さんは今回、歌のゲストでの出演でしたが、三度の飯よりご飯が大好きというグルメハンターぶりを発揮。ご自身の出番の合間を縫ってマルシェコーナーにお邪魔しました。

【園田】こんにちは。お店の名前を教えてください。
【レインボーハウスさん】佐賀市水ケ江から来ましたレインボーハウスと申します。
【園田さん】私はもうすでに知っているんです。インスタもフォローしているんです。
【レインボーハウスさん】ありがとうございます。
【園田】以前、別のお祭りとかでもご一緒したことがあって、、私のライブにも出店していただいたことがあるんですよ。でも、私もまだ知らないことがあるかもしれないからおすすめの商品を教えてもらってもいいですか？
【レインボーハウスさん】焼き菓子・クッキーとかマドレーヌを販売させていただいているんですけど一番の人気商品はマーブルクッキーになります。
【園田】いやー、これ見た目も可愛いんですよね。黒と白のこのシマシマ模様で。しかもココアの香りも美味しいし。
【レインボーハウスさん】ありがとうございます。
【園田】あとね、食べやすいサイズ感なんで。罪悪感も少ないですね。
【レインボーハウスさん】もう、一個食べたら何個もいっちゃいます。
【園田】結局全部食べちゃうんですけどね。止められんけん。あと、私が好きなのはこのケーキ！
【レインボーハウスさん】カットケーキが4種類ありまして、紅茶、抹茶、金柑、キャロットですね。季節によって、あんずケーキかアップルケーキがあります。
【園田】私のお気に入りはこの金柑なんですよ。めっちゃ美味しかったです、前いただいて。
【レインボーハウスさん】ドライフルーツの金柑を一緒に焼いています。
【園田】いや、しかもさ、これプレゼントとかに金柑のケーキちょっとおしゃれじゃないですか？
【レインボーハウスさん】なかなか売られてないですね、金柑の味は。
【園田】あと一個だけちょっと私が気になったのを聞いてもいいですか？
もち麦?これがすごい気になってて。
【レインボーハウスさん】はい、むらさきもち麦と言いまして国産の皮付きもち麦です。こちらの商品はサガビソウさんからのお仕事をいただいて、うちの利用者さんたちと一緒に袋詰めをしたり一緒お仕事をして、販売させていただいております。
【園田】じゃあ、みんなもこのおいしいもち麦プラス、愛情もこめこめして、ここに並んでるってことですね。
【レインボーハウスさん】はい、もう愛情たっぷりでございます！たくさんありますので皆さんよろしくお願いします。
【園田】私が見てた感じ、選手の方たちも自分の試合じゃない時にお店見に来られて
いろいろあるなと見ていらっしゃったんで、私も後でまた遊びに来ます。
レインボーハウスさん：はい、よろしくお願いします。
【園田】ありがとうございます。

【園田】こんにちは
【オアシスみふねさん】こんにちは、ようこそいらっしゃいました。
【園田】ありがとうございます
【オアシスみふねさん】オアシスみふねと言います。
【園田】オアシスみふね、みふねってことは武雄から？
【オアシスみふねさん】よくご存知ですね、武雄から参りました。山内町です。
【園田】そうなんですね。紅茶を出されてるんですね。
【オアシスみふねさん】はい、武雄市で作ったレモングラスに紅茶を混ぜたのもございます。
【園田】おしゃれ～
【オアシスみふねさん】でしょ～
【園田】おしゃれだし、この紅茶の隣にあるアップルパイが、もう黄金セットじゃないですか
【オアシスみふねさん】ありがとうございます
【園田】しかもアップルパイ、サイズ結構しっかりありますね。
【オアシスみふねさん】そうですね、大きさは大体20センチぐらいで半月状になっていますから、とても大きいんですけども食べるとあっという間になくなります。
【園田】そうなんですね。いや、もう本当に見ただけで焼き目とかもおいしそう！
持ってもいいですか？
【オアシスみふねさん】どうぞお手に取ってください
【園田】ほらね、思った通り。ずっしりしてるもん。
このパイのサクサク感とリンゴも主役って感じがしますね。
【オアシスみふねさん】まさにおっしゃる通りです。ありがとうございます。
【園田】わー、これ、ぜひセットで買ってほしいですよね。
【オアシスみふねさん】そうですね。まあ、私からそれ言っちゃまずいでしょうけども（笑）
【園田】いや、言いましょう、言いましょう！自信持ってどっちも、素敵な商品ですから。これ買って、試合見て、感想を言い合いながらお茶会もいいかもしれない。
【オアシスみふねさん】私も先ほど試合見てたんですけどもね、とってもハラハラする迫力のある試合ですね。
【園田】そうですよね。ゴールボールで会場静かだけど、結構ドキドキしますよね。
【オアシスみふねさん】そうなんですよね
【園田】不思議な感覚ですよね。
ありがとうございます。
【オアシスみふねさん】どうも、ありがとうございます。

FM佐賀特別番組　SAGAパラスポ2026ゴールボール競技。
先月、吉野ヶ里町文化体育館で行われた大会の模様をお届けしています。
今、園田有由美さんがレポートしてくれた、障害福祉施設によるマルシェは
この後行われる6つの競技会場でも開催されます。ぜひ、そちらもお楽しみに。

インタビュー(KYUSHU OWLS)

今回の大会では競技役員、審判委員、競技補助員によるスムーズな試合進行。
選手をサポートする先輩どのサガンティア、神埼清明高校の皆さんのほかマルシェの
店員さんなどたくさんの方が携わっていました。
そして、コートではレポーターやスポーツMCとして活躍中の三井雄司さんが客様
と一体になってゲームを盛り上げてくれました。

(三井さんによるインタビュー)
【三井さん】さあ、この第2回大会3位に輝きました！
今後、どんなチームになっていきたいか意気込みお願いします。

【KYUSHU OWLS】そうですね。日本選手権予選に出るのでもっと強化して、
チームワークを最大限に発揮できるようなチームにしていきたいです！

【三井さん】ありがとうございます！今後の活躍も期待しております。
今大会3位に輝きましたKYUSHU OWLS(九州アウルス)の皆さんでした！
ありがとうございました！

みこみに　ミニライブ

さあ、そしてこの後は、お客様、そして選手の皆様、コートにご注目ください。
みこみにのライブがスタートします。
みこみにの皆さん、よろしく！

(みこみに　ミニライブ)
【ひぜんりさ】皆さん、こんにちは
【ひゅらちー】こんにちは
【ひぜんりさ】選手の皆さん、熱い試合お疲れ様でした！
そしてこの後も迫っている決勝戦に向けて私たちが歌を通して応援を届きます！
よろしくお願いします！
【ひゅらちー】よろしくお願いします！

【徳丸】SAGAパラスポ2026は、佐賀県独自のパラスポーツの全国大会ということで
地元、佐賀をはじめ、各地から合わせてアチームが出場しました。そんな全国から集
まった皆さんを歌で盛り上げてくれたのが、先ほど貴レポ5も披露した園田有由美さん
と佐賀のアイドル、ひぜんりささんによるみこみに。そして、同じ事務所のひゅらちー
とAMaReさんでした。広い体育館をいっぱいに使ったパフォーマンスで合計4曲を披
露。選手も会場もスタッフも役員も巻き込んださすがのライブでした。では、出日も披
露したこの曲を必ず応ります。ひぜんりささんで、「りさちーなんなーランド」

(曲)

インタビュー【高知MKT】

写真 左：高知MKT 田中選手　右：高知MKT 中妻選手

【徳丸】この時間ブースには、このお二人にお越しいただきました。自己紹介をお願い
します。
【中妻選手】高知MKTから来ました中妻と申します。宜しくお願いします。
【徳丸】よろしくお願いします。そして！
【田中選手】同じく高知MKTから田中選手です。

【徳丸】よろしくお願いします。
チーム名、高知MKTということは高知からお越しですね。
【中妻選手】そうです。
【徳丸】ようこそ佐賀へ！お二人チームとして佐賀に来るのは？
【田中選手】初めてですね。
【中妻選手】初めてになります。
【徳丸】個人としても初めてだったりしますか?佐賀?
【中妻選手】そうですね。
【徳丸】ようこそ佐賀へ！
【中妻選手】すごくいいところですね。

【徳丸】嬉しい一佐賀に来て何か佐賀らしいものに触れられましたか?
【中妻選手】そうですね。話をいろいろ聞かせていただいて一番驚いたのが生きたイカ
を食べるということで、生きたイカを食べたことがないので吸盤とかロの中で、くっ
ついて離くないのかなとか一
【徳丸】あ、今想像の話されますよ(笑)
【中妻選手】ごめんなさい(笑)　聞いた話で(笑)
【徳丸】食べれてない？
【中妻選手】食べてはないですね。

【徳丸】佐賀に来られたのはいつですか?
【中妻選手】昨日の お昼ですね。
【徳丸】初日に来て、で帰られるのは?
【中妻選手・田中選手】今日です。
【徳丸】じゃあもう佐賀の思い出はもう、このSAGAパラスポのみとのいう(笑)
【中妻選手・田中選手】そうですね。

【徳丸】であれば、より楽しんでいただきたいなというところなんですけれども(笑)
今、試合終わったばかりということでお聞き様でございます！
【中妻選手・田中選手】ありがとうございます

【徳丸】どうですかたくさん試合にもおられていると思うんですけど、このSAGA
パラスポの印象としてはどういった大会ですか?
【田中選手】楽しいです！スタッフさんもずーて温かいですし、皆さん温かいですし
すごい優ちもやりやすいし、楽しかったです。
【徳丸】楽しんでいただけてじゃあ、今の佐賀の印象は結構いいぞ！という
【中妻選手】とてもいいですね！
【田中選手】また、できたら来たいな

【徳丸】嬉しい一ゴールボールの魅力ってどういうところにあるんでしょうか?
【中妻選手】そうですね。僕が一番魅力に感じるのはやっぱり音と触覚だけを頼りに
コートを自由自在に動き回ってプレーするところは他の競技にはなかなかないこと
なので、素晴らしいですし、晴眼者の方も一緒になってプレーができる競技ですので
障害の有無を問わず一緒にプレーできるこの競技はとても素晴らしいものだと思い
ます。
【徳丸】みんなが楽しめることが一つの大きな競技ですよね。
【中妻選手】はい

【徳丸】では、最後にリスナーの皆さんに一言ずつメッセージをお願いします。
【田中選手】皆さん一緒にゴールボールをやりましょう！
【中妻選手】また来年、佐賀に来たいと思いますので一緒にまたゴールボール見に来て
ください！

【徳丸】現知のシーンが盛り上がっていくことを応援しております。
一緒に頑張っていきましょう！
【中妻選手】ありがとうございます。
【田中選手】ありがとうございました。
【徳丸】この時間、高知MKT田中選手さんと中妻選手さんにお越しいただきました。
ありがとうございました。
【中妻選手・田中選手】ありがとうございました。

SAGAパラスポ2026「ゴールボール」競技に、遠く四国からお越し頂いた高知MK T
の皆さん。今回、スプリュームの開発で比較的弾丸ツアーだったということで
次回は、ゆっくりサガを楽しんで欲しいですね。
改めて、今回の大会には、只今の「高知MK T」をはじめ、遠く埼玉から「Triple
Search」、福岡から「博多M E N筋」「KYUSHU OWLS」、地元佐賀から「SAGAN CO
(サガンシーオー)」「佐賀富ストライカーズ」そして「ブンブン」という、合わせて7
チームが参加し2日間にわたって戦い抜く盛り上がりました。
そして、その頂点に輝いたのは・・・

インタビュー【Triple Search】

写真 左：Triple Search　沢田選手　右：Triple Search　吉賀選手

(優勝決定時音声)

【古賀選手】はい、Triple Searchの古賀です。よろしくお願いします。
【徳丸】よろしくお願いします。そして
【沢田選手】Triple Searchの沢田です。よろしくお願いします。

【徳丸】よろしくお願いします。
選手のお二人にお越しいただきましたけれどもこのTriple Search全国的にも強豪
チームですけれども去賀さん、実は出身が佐賀なんですよね。
【古賀選手】はい、そうなんです。
【徳丸】おかえりなさい
【古賀選手】ただいまです。ありがとうございます。

【徳丸】埼玉の方はチームから多くいらっしゃるさっき聞いて、たくさん大会も出てらっ
しゃると思うんですけれども全国的に見てこのSAGAパラスポどうですか？
【沢田選手】参加させていただいて開会式の演出とかもとても壮大で、あと、晴知事が
来られてお話しいただいたりすごくと力、佐賀県のパラスポーツに対しての思いっていう
ものすごく強いなと感じたので、選手としても、とてもやる気が出る開会式とかイベ
ント、アリーナの周囲の方もそうですけど、そのお力入ってるなと感じがとても嬉しいです。
【徳丸】選手の方から見て、たくさんの大会に出てる方から見てもかなりいい大会って
いうことですか？
【沢田選手】モチベーションになりますね。

【徳丸】嬉しい！それが佐賀にあるっていうのがやっぱり良々の誇りになりますけれ
ども、お二人から見てこのゴールボールの魅力って一言で言うと？
【古賀選手】特に、男子のゴールボールになると日本代表のメンとかも来めますこい試が
速くて、それに音が消えるボールがあるんですよ。ボールはバウンドしてるんだけど
音が消えてたりとか、あといろんな速い移動攻撃だったり、そういう音だけじゃなく
て見てる側からしてもいろんな技がたくさん入って見応えが、すごくあるスポー
ツなんじゃないかなと思ってます。
【徳丸】見れば見るほどハマる、見どころがたくさんあるっていうことで沢田さんからも
一つあれば。
【沢田選手】3人のチームで戦うんですけどみんながアイシェードっていう目隠しをして
戦っていて、全員が同じ条件のもと一つの勝利に向かってプレーできるっていう
魅力があるかなと思います。

【徳丸】では、最後にお二人から一言ずつ、リスナーの皆さんにメッセージをお願いし
ます。
【沢田選手】9、ラジオということで、自分たちがやってるゴールボールも昔だけで
試合の状況が分かったりとかプレーしたりするので、
9、ラジオを聴いてるカタ、何かを聴いて情景を思い浮かべることに慣れてる方が
多いと思うので、日本選手権とかもYouTubeで配信されたりしていますので、もし興
味があるまたち、見ていただいて、それがまたゴールボールの普及にもつながると
思うので、ぜひ見てみてください。
【古賀選手】ゴールボール、いろんな各県で体験会とかも開かれてたりとかするので
もし、近くでやってるっていうのを見かけた際はぜひ参加していただいて、コートの
ラインの中にタコ糸が入ってたりとかボールの重さを実際に触って、感じてもらった
りとか、ボールを受ける衝撃っていうのも体験会を通して知ることもできたりするの
で、あとは、YouTubeでも配信もされてるのでそういうのをきっかけに興味を持って
いただいてゴールボールは見るだけでなく、実際やるとすごい楽しいのでぜひ、皆さ
んも機会があったらやってみてください。

【徳丸】埼玉県からお越しのTriple Searchの古賀建成さん。
そして、沢田和也さんにお話を伺いました。
ありがとうございました。
【古賀選手・沢田選手】ありがとうございました。

インタビュー【競技委員　金丸哲也さん】

写真 左：競技委員 金丸哲也さん　右：パーソナリティ 徳丸英器

FM佐賀特別番組 SAGAパラスポ2026ゴールボール競技。
先月、吉野ヶ里町文化体育館で行われた大会の模様をお届けしてきました。
いかがだったでしょうか。最後に、佐賀の様々なパラスポーツの発展・振興に力を尽くしてこられ、今大会では競技委員を務めたこの方に大会の総評を含めてお話を伺いました。

【徳丸】では、ブースにはこの方にお越しいただきました。お名前を教えてください。
【金丸さん】金丸哲也と言います。よろしくお願いします。
【徳丸】よろしくお願いします。お疲れ様でした。先生はずっとこのゴールボールに限らず、視覚障害のある方のスポーツにずっと関わってこられたんですよね。
【金丸さん】そうですね、種目で言うと色々あるんですけども、ゴールボールはパラリンピック種目なんですけど、それ以外の種目で、全国障害者スポーツ大会の種目にブラインドベースボールやサウンドテーブルテニスというのがあります。そのあたりも指導をずっとしてきています。
【徳丸】どれぐらい前から指導を？
【金丸さん】15年くらいに前になります。

【徳丸】佐賀のこの業界の第一人者として、たくさんの教え子さんとか、生徒さんとか選手の方とも関わってきてると思うんですけど、今日もたくさん出られてたんですよね？
【金丸さん】そうですね。
【徳丸】どうですか？そんな教え子さんたちの戦いを見て
【金丸さん】そうですね、県外から強豪が来てたんで、3位以内に、佐賀県のチームが入ってほしかったっていうのはありましたけど。
【徳丸】なるほど。やっぱりそれぐらい熱を込めて、応援してらっしゃるからこそということでしょうけども。
【金丸さん】その中でも古賀建成君という優勝したTriple Searchの選手が、佐賀県立盲学校に勤務した時の教え子だったんで。彼の成長を、肉体的にも精神的にもすごく成長していて。強い古賀建成を見せてもらいました。

【徳丸】頼もしい存在が、またどんどん出てきてると思うんですけれども。
このSAGAパラスポ2026ということで 今回、第2回目。前回と比べてどうですか？
【金丸さん】去年が3チーム、そのうち2チームは佐賀県のチーム福岡から1チームが来てくれて。ここでやりましたけども。その時と比べれば、それはもう3倍4倍ぐらい昨日今日は盛り上がりましたね。やはり参加チームが多かったこととレベルが高い選手が来てくれたことが一番です。
【徳丸】先生の目から見てもやっぱり、進化してるっていうのは？
【金丸さん】明らかでした。佐賀県内でこの競技レベルのゴールボールが開催されて、試合を見れたのは、もう初めてですね。

【徳丸】これからどうなっていったらいいなとか どういうふうにしていきたいなというビジョンはありますか？
【金丸さん】とにかく私は県内の ゴールボール人口を増やしていきたいと思ってます。要するに競技人口を拡大する ということです。そのためにはみんなの大会にする。これ全国大会ですけど、県レベルのゴールボール大会もやってます。まず、そこの参加者をもっと増やして、底辺を拡大して、この大会につなげられるような選手を生み出していく・作り出していく。そういったことがこれからの課題と思ってます。

【徳丸】では、最後にリスナーの皆さんに メッセージをお願いします。
【金丸さん】SAGAパラスポ2026ゴールボール競技、無事終了しました。
来年も、この大会は続いていくと思います。さらにレベルアップして、たくさんの参加チームがこの佐賀に集って、この大会がこれまで以上に盛り上がっていければと思っております。

【徳丸】この時間、SAGAパラスポ2026競技役員の金丸哲也先生にお話を伺いました。
ありがとうございました。
【金丸さん】お疲れ様でした。ありがとうございました。

まとめ

【徳丸】実は私、徳丸英器。ゴールボール競技を生で見たのは初めてだったんですが、
この「静寂の中の格闘技」と 呼ばれる所以が、ヒシヒシというか ビンビンとビシビ伝わってきました。選手の皆さんとも話していたんですが、思った以上にアクティブで、激しい競技ですし、戦略に満ちているのを感じて、初めて見たんですけど、すぐに熱くなれる。そして、どんどん深みが感じられるような素晴らしいスポーツでした。
これからも応援したいですし、やってみるのも楽しくて、体験もできてよかったなと思います。先程、先生がお話になっていましたけれども佐賀からいい場所がある、いい体感がある。佐賀からまたこのスポーツも熱く広がっていけばいいなというのを感じられた素晴らしい一日だったなと思いました。
佐賀県独自のパラスポーツの全国大会第2回SAGAパラスポ2026は、今回のゴールボール競技を皮切りに来年3月まで県内各地で競技が行われていきます。
次回は10月3日と4日。唐津市文化体育館で開催される車椅子バスケットボールです。
競技用の車椅子同士がぶつかり合う迫力のあるゲームをぜひご覧ください。FM佐賀では大会2日目の10月4日、日曜日に今回のような公開録音を実施。
MCはDJYUYAさんです。

では、その後のスケジュールもご紹介しましょう。
フライングディスク・11月22日、日曜日です。
会場は鹿島市陸上競技場。
公開録音のMCは椎木樹人さん。
この日は福岡で活躍するアイドルグループ「IQプロジェクト」から研究生の選抜ユニット「BudLaB」のミニライブもあります。

続いてバレーボール・聴覚障害の部
11月28日土曜日、29日日曜日
芦刈町の小城のリスポーツセンターで開催。
FM佐賀公開録音のMCは園田有由美さんです。
続いてバレーボール・知的障害の部
12月5日土曜日、6日日曜日
鳥栖市のサロンパスアリーナMCはコガ☆アキさん。

続いてボッチャ
来年1月30日土曜日と31日日曜日です。
開催はSAGAプラザ
MCはサトユミ☆さんです。

そして、最終競技ソフトボール
3月13日土曜日と14日日曜日の開催。
太良町のB&G海洋センター運動広場であります。
MCは藤咲まりなさんです。
ぜひ会場でFM佐賀パーソナリティと一緒に応援しましょう。

大会の詳しいスケジュールや内容は、第2回SAGAパラスポ2026公式ホームページをチェックしてください。
ちなみに、これからでも参加できる種目やボランティアがあります。まず出場者です。
大会では、現在11月のフライングディスクと来年1月のボッチャで出場選手を募集しています。締め切りはどちらも今月9月30日です。
また、フライングディスクでは同時に大会の運営や選手のお手伝いをするボランティア、サガンティアも募集中です。気になった方は大会ホームページをご確認ください。

FM佐賀特別番組
SAGAパラスポ2026 ゴールボール競技。
この番組は佐賀県の提供でお送りしました。
ご案内は徳丸英器でした。